

末広まちづくり推進協議会 会議録 令和4年度第2回

会議概要	
日時	令和4年12月13日（火曜日）午後6時00分から午後7時40分まで
場所	末広公民館 2階 講堂
出席者	委員（12名、正副会長以外は50音順） 高田会長，今村副会長，泉川委員，小笠原委員，加藤委員，柴田委員，菅沼委員，田畑委員，前川委員，村田委員，柳澤委員，渡瀬委員 （欠席者 上原委員，中山委員，早川委員） 事務局 市民生活部 林部長 地域まちづくり課 成田課長，谷口補佐，浅沼 末広公民館 山崎館長 地域まるごと支援員 高橋支援員，石田支援員
会議の公開・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 末広まちづくり推進プログラム
	資料2 地域まちづくり体制の見直しについて

議事の内容

1 開会

事務局から，感染対策を講じて会議を開催する旨説明があった。

また，地域まちづくり課長が異動したことから，成田課長から挨拶があった。

2 末広地域のまちづくりの検討と推進について

末広地域で実施している各種事業について，次のとおりそれぞれの実行組織から報告があり，

内容について確認した。

ア 末広地域交通安全対策事業

末広まちづくり実行委員会の高田会長から、交通安全対策事業の実施状況について報告を受けた。

- ・9月22日に秋の交通安全運動に合わせた街頭啓発活動を行い、141名の協力を受けた。また、期間内に各市民委員会・町内会による交通安全のぼり旗の掲示を行った。

イ 末広地域活動団体 PR 事業

末広まちづくり実行委員会の高田会長から、活動団体 PR 事業の実施状況について報告を受けた。

- ・第9号が12月に発行予定。
- ・末広地域の小中学校で配布するほか、町内会で回覧を予定している。原稿依頼を行っているが、各団体皆様のご協力があり、スムーズに発行できている。
- ・この後、3月には第10号の発行を予定している。

ウ 末広ふれあいスポーツクラブ子どもの居場所づくり事業

末広ふれあいスポーツクラブ会長の村田委員から、子どもの居場所づくり事業の実施状況について報告を受けた。

- ・毎月2回、第2、第4金曜日に実施しており、延べ118名の子どもたちが参加している。
- ・末広地区にある小学校全てから参加者がいる。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、既に7回中止となった。
- ・11月の催しは中止となったが、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、2月頃に開催したいと考えている。

エ しらさぎ町内会除雪サポーター事業

しらさぎ町内会除雪サポーター委員会の柴田委員から、除雪サポーター事業の実施状況について報告を受けた。

- ・2年目の事業となり、現在27名の利用者に対し、17名のボランティアで活動している。
- ・12月の大雪がありながらも、滞りなく活動できている。
- ・補助金により、必要なものが準備できている。

オ 末広見守りネットワーク担い手連携事業

末広見守りネットワーク実行委員会会長の小笠原委員から、末広見守りネットワーク担い手連携事業の実施状況について報告を受けた。

- ・12月19日に、実行委員会を開催する予定。
- ・研修については、昨年度に続いて講師を呼ぶ形になる。地域の見守り活動を行っている皆さんにご参加いただきたい。今のところ2月開催を予定している。

3 末広まちづくり推進プログラムの改訂

事務局から、末広まちづくり推進プログラムの改訂について説明があり、各委員による意見交換を行った。

主な発言は次のとおり。

- ・3ページの「末広ふれあいスポーツクラブ」など、実施主体が同じものは一つにまとめるとよい。
- ・リュックサックをしょって、買い物をしている高齢者の方を見かける。買い物難民（移動手段、経済的、目的のものが見つからない etc.）へのサポートが必要ではないだろうか。
- ・介護保険だけでは買い物難民へのサポートが難しい。民間のスーパーでの配送サービスを利用しながらやっていることが多い。地域での助け合い活動ができるよう協力していきたい。
- ・役員のなり手がいない、町内会からの退会など、町内会運営が厳しくなっている。一方で、高齢者になればお互い助け合いが必要になり、町内会に加入していることにより、見守りなどできることもある。地域活性化、町内会活性化の方策を考える必要がある。
- ・新たな住民には、町内会長、班長などが積極的にアプローチして町内会加入を促している。
- ・地域包括支援センターでは町内会と情報共有の場（地域課題検討会議）を定期的に設けており、見守りが必要な世帯等の情報提供もしているので、大いに活用していただきたい。

4 地域まちづくり体制の見直し

市民生活部 林部長から地域まちづくり体制の見直しの背景について説明があった。

その後、資料2に基づき、事務局から地域まちづくり体制の説明を受けた。

主な発言は次のとおり。

- ・今回の見直しを15地域全てでできるかという、難しいのではないかと。モデル地域で何年か行って、その実績をもとに各地域に広げる方法がいい。
- ・今の15地域をそのまま維持するのか、もっと広くするか、逆に狭くするのか、という視点も必要。
- ・今のまち協では不都合な部分を順々に解決していくしかないのではないかと。

- ・モデル地域での実践や先進地域を参考に、時間をかけて行っていないと。いきなり改正、といってもなかなか意見が出ない。

5 その他

事務局から、次の3点について説明があった。

- 1, 地域まちづくり体制の見直し, 未広まちづくり推進プログラムの改訂に対するご意見は, 本日配付した様式で12月29日までにFAX, 郵送等でご提出いただきたい。
- 2, 2月に開催予定の合同研修会に皆さんご参加いただきたい。出欠確認票は翌年1月20日までにご提出いただきたい。
- 3, 次回日程は合同研修会終了後を想定しているが, 改めて日程調整を行いたい。

6 閉会